

HiKOKI

取扱説明書

用途

- 各種木材の切断および窓抜き
- 軟鋼板、アルミ板、銅板などの切断
- ベークライト、塩化ビニールなど各種合成樹脂の切断
- 各種化粧板、薄物軟質新建材の切断
- ステンレス板の切断

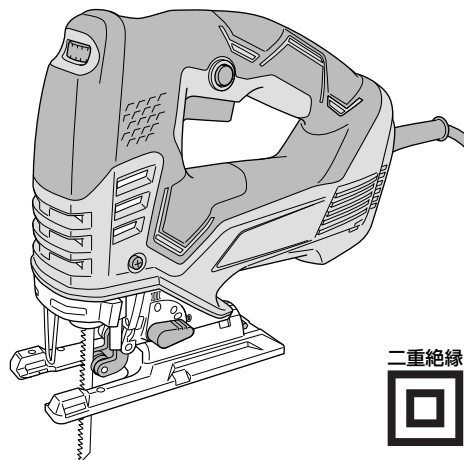
電子ジグソー

CJ 160V

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



二重絶縁



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに

一般安全規則	1
電動工具の安全上のご注意	3
二重絶縁について	6
本製品の使用上のご注意	6
各部の名称	7
標準付属品	8
仕様	9
別売部品	9

準備

ご使用前の準備	11
ご使用前の点検	12

使い方

ブレードの取付け・取りはずし	13
スイッチについて	14
ブレードのスピード調整	14
オービタル機構について	15
刃口板の取付け	16
サブベースの取付け	17
チップカバーの取付け	17
六角棒スパナの収納について	18
ダストコレクタの取付け	18
木材を切断する	19
いろいろな切り方	23

その他

保守・点検	26
ご修理のときは	裏表紙

一般安全規則

警告

すべての説明書を良く読んでください。

次に示すすべての指示に従わない場合は、感電、火災または重傷を招く恐れがあります。次に示すすべての警告における“電動工具”という用語は、電源式（コード付き）電動工具または電池式（コードレス）電動工具を示します。

次の事項を順守してください。

a) 作業場

- 1) 作業場は整理整頓して、十分な照明を確保してください。ちらかった暗い場所は事故を招く恐れがあります。
- 2) 爆発を誘引することがある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある所では、電動工具を使用しないでください。
電動工具は、粉じんまたはヒュームを発火させることがある火花を発生する場合があります。
- 3) 電動工具の使用中は、子供および第三者を近づけないでください。注意が散漫になって、操作に集中できなくなる場合があります。

b) 電気的安全性

- 1) 電動工具の電源プラグは、コンセントに合った物を使用してください。電源プラグを改造しないでください。アダプタプラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。
改造していない電源プラグおよび、それに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクは低減されます。
- 2) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの接地された物と、体の接触を避けてください。
体が接地された場合は、感電のリスクが増大します。
戸外で使用する際には、3)～5)の注意が必要です。
- 3) 電動工具は、雨または湿気がある状態にさらさないでください。電動工具に水が入ると、感電のリスクが増大します。
- 4) コードを乱暴に扱わないでください。電動工具を移動させたり、引いたり、または電源プラグを抜くためにコードを利用しないでください。コードは、熱、油、角のとがった所、または動く物からはなしておいてください。コードが損傷したり、絡まったりすると、感電のリスクが増大します。
- 5) 電動工具を戸外で使用するときは、戸外の使用に適した延長コードを使用してください。戸外の使用に適したコードを使用すれば、感電のリスクは低減されます。

c) 人的安全性

- 1) 電動工具の使用中は、油断をせず、いま自分が何をしているかに注意し、常識を働かせてください。疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいるときは、電動工具を使用しないでください。電動工具を使用している間の一瞬の不注意で、深刻な人的傷害をもたらす場合があります。
- 2) 安全保護具を使用してください。常時、保護メガネを装着してください。適切な状態で防じんマスク、滑り防止安全靴、ヘルメットまたは耳栓などの安全保護具を使用することで、傷害事故が低減されます。

- 3) 不慮の始動を避けてください。電源プラグをさし込む前に、スイッチがオフの位置にあることを確認してください。指をスイッチに掛けて電動工具を運んだり、またはスイッチがオンになった電動工具の電源プラグをさし込むと、事故を招く恐れがあります。
- 4) 電動工具の電源を入れる前に、調整キーまたはレンチをはずしてください。電動工具の回転部分にレンチまたはキーを付けたままにしておくと、人的傷害をもたらす恐れがあります。
- 5) 無理な姿勢で作業しないでください。常に適切な足場とバランスを維持してください。これによって、予期しない状況でも電動工具をより適切に操作することができます。
- 6) きちんとした服装で作業してください。だぶだぶの衣服や装飾品は身に付けしないでください。髪、服および手袋を回転部に近づけないでください。だぶだぶの服、装飾品または長髪は、回転部に巻き込まれる場合があります。
- 7) 集じん装置が接続できる物は、適切に使用されていることを確認してください。これらの装置を使用することによって、粉じん関連の危険を低減することができます。

d) 電動工具の使用および手入れ

- 1) 電動工具を無理に使用しないでください。用途に合った正しい電動工具を使用してください。より適切、安全に作業ができます。
- 2) スイッチで始動および停止操作のできない場合、その電動工具は使用しないでください。スイッチで制御できない電動工具は危険ですので、修理を依頼してください。
- 3) 調整を行う前、付属品を交換する前、または電動工具を保管する前には、電源プラグをコンセントから抜くか、または電動工具から蓄電池をはずしてください。このような予防的 안전手段によって、電動工具を誤って始動させるリスクが軽減されます。
- 4) 使用しない電動工具は、子供の手の届かない所に保管し、電動工具に不慣れな者や取扱説明書を読んでいない者には電動工具を使用させないでください。電動工具を扱い慣れていない者に渡すと危険です。
- 5) 電動工具の保守を行ってください。電動工具の作動に影響する恐れがある可動部分の心ズレまたは結合、部品の破損およびその他の状態を点検してください。異常がある場合は、使用する前に電動工具の修理を行ってください。電動工具の保守が不十分であることが、多くの事故の原因となります。
- 6) 先端工具は、鋭利かつ清潔に保ってください。先端工具を適切に手入れして鋭利にしておけば、作業の円滑さを失うことなく、操作も容易になります。
- 7) 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件および実施する作業を考慮して、それらの取扱説明書に従って使用する電動工具に合うように使用してください。意図された作業と異なる作業に電動工具を使用すると、人的傷害をもたらす恐れがあります。
- 8) 電動工具は25℃での使用を前提としていますが、時折、35℃になることも想定しています。

e) 整備

電動工具の整備は、資格を持つ修理要員が純正交換部品だけを用いて行ってください。これによって、電動工具の安全性を維持することができます。

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① 作業場は、いつもきれいに保ってください。**
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ 感電に注意してください。**
電動工具を使用中、体を、アース（接地）されている物に接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- ④ 子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。**
乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

⚠ 警告

- ⑥ **無理して使用しないでください。**
安全に能率良く作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
- ⑨ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ **防音保護具を着用してください。**
騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引いてコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードを点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
 - 延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ **次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
 - 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。

⚠ 警告


- ⑩6 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。
電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑩7 不意な始動は避けてください。
●電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
●電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑩8 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。
- ⑩9 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
●電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
●常識を働かせてください。
●疲れているときは、使用しないでください。
- ⑩20 損傷した部品がないか点検してください。
●使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
●可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
●損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
●スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
●スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ⑩21 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外の物を使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- ⑩22 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
●この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
●修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

二重絶縁について

二重絶縁とは、電気が流れる部分と手に触れる外枠部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されている構造のことです。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されるため感電しにくい構造です。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に  マークで表示してあります。純正品以外の部品と交換したり、間違って組み立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。電気系統の修理や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、電子ジグソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

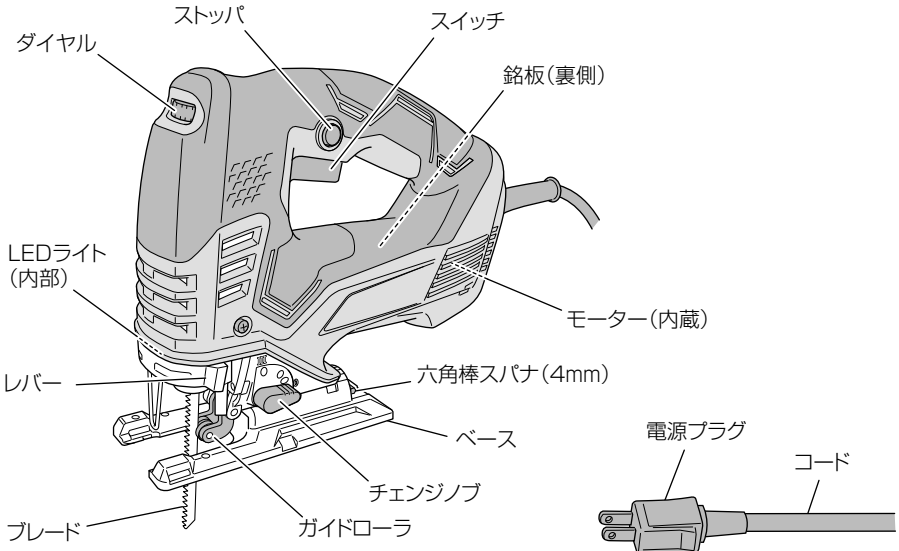
警告

- ① **使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② **直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類で使わないでください。**
製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。
- ③ **作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを作業前に十分確かめてください。**
 - 埋設物があるとブレードが触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
 - 誤って電線を切断してしまった場合の感電防止のため、使用中は本体金属部に触れないでください。
- ④ **使用中は、機体を確実に保持してください。**
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ⑤ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑥ **誤って落としたり、ぶつけたときは、ブレードや機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。**
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠️ 注意

- ① ブレードや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、ブレードや切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。
- ③ 工具が作動している間は、レバーを動かさないでください。
機体の破損および、けがの原因になります。
- ④ 作業直後のブレードは高温になっているので、触れないでください。
やけどの原因になります。
- ⑤ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑥ ブレードでコードを切断しないように注意してください。
感電の原因になります。

各部の名称



標準付属品

品名	個数
① ブレード No.41 No.123X	各1枚
② 六角棒スパナ (4mm)	1個 (ベース収納部に装着)
③ 刃口板	1個
④ サブベース	1個
⑤ チップカバー	1個
⑥ ダストコレクタ	1個
⑦ ケース	1個

仕 様

使 用 電 源	単相交流 50/60Hz 共用 電圧 100V
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター
全 負 荷 電 流	8.4A
消 費 電 力	800W
ス ト ロ ー ク 数	800 ~ 2,800min ⁻¹ { 回 / 分 }
ス ト ロ ー ク	26mm
最 小 切 断 半	25mm
質 量	2.5kg
コ ー ド	2心キャブタイヤケーブル 2.5m
振動3軸合成値 ^{※1}	木材 8.0m/s ² ^{※2} 軟鋼板 4.5m/s ² ^{※2}

※1: 振動3軸合成値(周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値)については、
JEMA [一般社団法人日本電機工業会]
ウェブサイト: <http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>
をご参照ください。

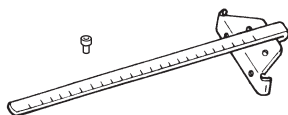
※2: 振動3軸合成値は、EN60745-2-11規格に基づき測定しています。

別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください)

用途に応じた別売部品をご使用いただくことで、いろいろな作業にご利用できます。
詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

ガイド

直線や円弧を切る場合にご利用ください。
使い方は P.21 をご参照ください。



各種ブレード

作業の能率や仕上げを良くするために、加工材の材質や厚さに適したブレードをお選びください。

ブレード適正一覧表〔下記表中の数字は切断可能な厚さ (mm) を示します。〕

ブレード No.	加工材												
	木材		鉄材		非鉄金属		合成樹脂			パルプ紙		その他	
	一般木材	ベニヤ	軟鋼材	ステンレス	アルミ 銅 黄銅	アルミ サッシ	ベークライト メラミン等	塩化ビニル アクリル等	発泡スチロール 発泡ポリエチレン	ボール紙	ハード ボード	ファイバ版	硬質ゴム
※ No.1	20~35	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1 (ロング)	90以下	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1 (スーパロング)	135以下	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
※ No.2	20以下	—	—	—	—	—	—	3~30	3~30	3~30	—	—	3~30
No.4	—	—	—	—	—	—	6以下	3~30	—	—	—	—	—
No.11	10~55	5~30	—	—	—	—	—	5~30	10~55	10~55	—	—	—
No.12	20以下	10以下	—	—	—	—	—	10以下	3~25	3~25	—	—	—
No.15	—	—	3~6	—	3~12	高さ 25以下	5~20	5~20	5~25	—	3~25	—	—
No.16	—	—	3以下	—	3以下	—	6以下	5以下	3~25	—	6以下	6以下	—
No.21	10~55	5~30	—	—	—	—	5~15	5~30	10~55	10~55	—	—	—
No.22	5~40	3~20	—	—	—	—	6以下	3~20	3~40	3~40	—	—	—
※ No.31	20~55	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.41	10~65	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.97	—	—	2~5	1.5~2.5	5以下	高さ 25以下	5~15	5~15	5~25	—	3~25	—	—
仕上 No.1	8~30	2~30	—	—	—	—	6以下	3以下	3~30	—	—	—	—
No.123X	—	—	1.5~10	—	—	高さ 30以下	—	—	—	—	—	—	—
合板用	—	2~30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
曲線切り (木材)	20以下	20以下	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.5A (木材)	—	—	1.7~3.0	—	2~4	—	—	—	—	—	—	—	—
No.6A (押切刃)	—	—	1.6以下	—	2以下	—	—	—	—	—	—	—	—
曲線切り (鉄材)	—	—	2以下	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.95	—	—	3~6	1.5~3.2	3~12	高さ 25以下	5~20	5~20	5~25	—	3~25	—	—
No.96	—	—	3以下	0.5~1.5	3以下	高さ 25以下	5以下	5以下	5~25	—	3~25	—	—
FRP	FRP 板厚 10mm												

※ No.1、2、31 のブレードで、傾斜切断はできません。

ご使用前の準備

●作業場は整頓をし、明るくしてお使いください

●漏電しゃ断器の設置

本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをお勧めします。

●延長コードを使う場合

電気が流れるのに十分な太さの、できるだけ短いコードをご使用ください。

右表は使用できるコードの太さと、最大の長さです。

これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

警告

延長コードは損傷のない物を用意してください。

コードの太さ (mm ²) (導体公称断面積)	最大の長さ (m)
1.25	15
2	25
3.5	45

ご使用前の点検

警告

ご使用前に次のことを確認してください。手順 ①、② については、電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

① スイッチが切れていることを確かめる

- スイッチが入っているのを知らずに、電源プラグをコンセントにさし込むと、不意に動き思わぬけがの原因になります。
スイッチは引くと入り、はなすと切れます。
- スイッチストッパが押されたままになっていないか、一度スイッチを引き、はなしたときスイッチが戻ることを必ず確認してください。
(P.14「スイッチについて」参照)

② 電源を確かめる

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破損する恐れがあります。
また、直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。
製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

③ コンセントを確かめる

電源プラグをコンセントへさし込んだとき、電源プラグがガタついたり、すぐ抜けてしまう場合にはコンセントの修理が必要ですので、お近くの電気工事店などにご相談ください。
そのまま使用を続けると、過熱して発火や事故の原因になります。

ブレードの取付け・取りはずし

⚠警告

ブレードの取付け、取りはずしの際は、万一の事故を防止するため必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

取付け方

- 1 レバーを矢印の方向に引きます。
- 2 レバーを引いたまま、ブレードをブレードホルダ先端のさし込み口から突き当たるまでさし込みます。
- 3 レバーを元に戻すとブレードが固定されます。
ブレードがガイドローラの溝に入っていること、またブレードが抜けないことを確認してください。

取りはずし方

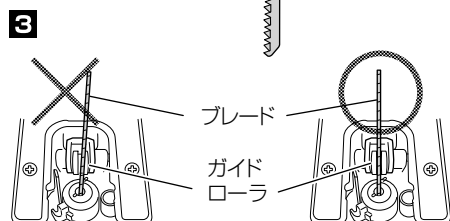
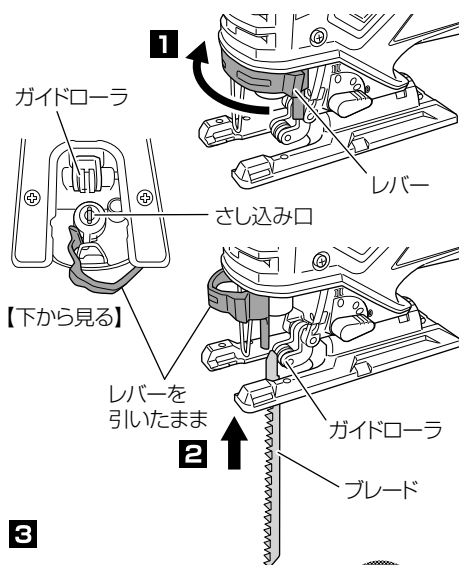
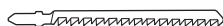
- 4 取付けたときと同様にレバーを矢印 **1** の方向に引きながら、ブレードを引き抜きます。

⚠注意

使用直後のブレードは高温になっているので触れないでください。
やけどの原因になります。

⚠注意

- ブレードは、切粉を良くふき取り、確実に取付けてください。
取付けが確実でないと、ブレードがはずれ、けがの原因になります。
- ブレードの刃に触れないでください。
けがの原因になります。
- ブレードは、下図のような形状の物を使用してください。



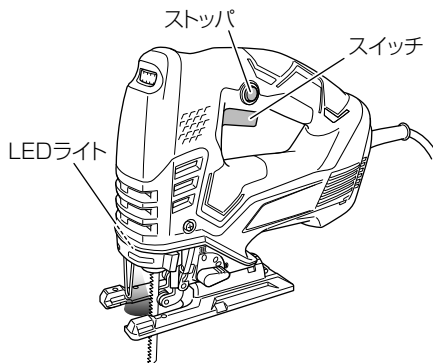
- 注**
- ガイドローラ部には、ときどき潤滑油をさしてください。
 - ブレードを交換するときには、切粉などがさし込み口にたまらないように掃除してください。

スイッチについて

スイッチを引くとブレードが動き始め、同時にLEDライトが点灯して刃先を照らします。

スイッチを一杯に引いた状態でストップを押すと連続運転になります。

スイッチを切るときは、もう一度スイッチを引き、ストップがはずれてから指をはなします。



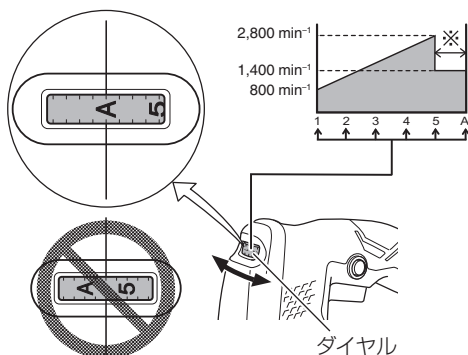
ブレードのスピード調整

本機はブレードのスピードを無段階に調整できる電子制御回路を内蔵しています。

ダイヤルを調整し、加工材、作業条件に合ったスピードでご使用ください。

ダイヤルの目盛り“1”が最低速(800min⁻¹{回/分})で、目盛り“5”が最高速(2,800min⁻¹{回/分})です。一般に軟質材では高速、硬質材では低速が適しています。

- 注**
- 低速(目盛り1~2)では、木材で10mm、金属板で1mmを超える厚さの材料は切断しないでください。
 - オートモード使用の際は、ダイヤルを下図の位置まで回してください。



モード	ダイヤル	ストローク数
通常モード	1~5	800~2,800min ⁻¹ {回/分}
オートモード*	A	1,400min ⁻¹ {回/分}(負荷がかかる前) 2,800min ⁻¹ {回/分}(負荷がかかった後)

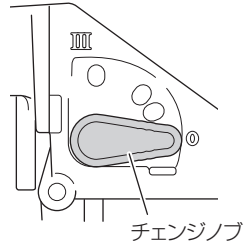
* 作業条件やブレードの種類によって、ストロークが2,800min⁻¹に上がらない場合や、1,400min⁻¹に戻らない場合があります。

オービタル機構について

本機はブレードが上下運動と同時に前後にも運動するオービタル運動機構を備えています。

オービタルポジションはチェンジノブで切り替わります。

用途に応じたオービタルポジションを選択してください。



● ブレードの運動

ブレードが上下プラス前後運動するため、特に木材などの軟質材において、切断材への食い込みおよび切粉の排出が良くなり、切断作業がスムーズに行えます。

		オービタルポジション			
		Ⅲ	←→		0
ブレードの運動軌道	ストローク量 26mm				
					単なる上下運動

● オービタルポジションの選択（目安）

最適なポジションは切断する材料のかたさおよび厚さ、切断面の仕上がり程度、その他の要因によって左右されるため、あくまでも目安としてご利用ください。

オービタル機構使用時は材料がバタつきやすいため、材料がしっかり固定されているか確認してください。

要 因	オービタルポジション	
	Ⅲ	←→ 0
材 料 の か た さ	軟質材	←→ 硬質材
材 料 の 厚 さ	厚い	←→ 薄い
切 断 速 度	速く切る	←→ ゆっくり切る
直線切りか曲線切りか	直線に切る	←→ 曲線に切る
仕 上 り 程 度	悪くてもよい (ケバ立ち、縁欠け などがあってもよい) ←→ きれいに仕上げたい	

刃口板の取付け

警告

刃口板の取付け、取りはずしの際は、万一の事故を防止するため必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

木材の直線切りで、切断面角部のけば立ちを小さくするときに刃口板を使用します。

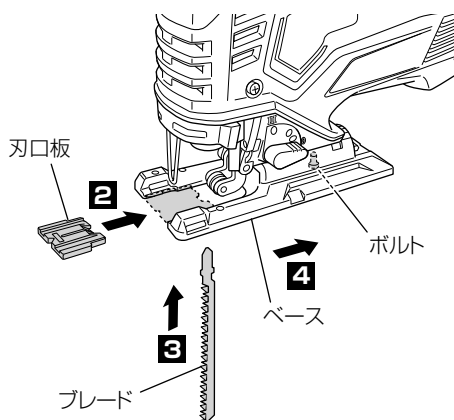
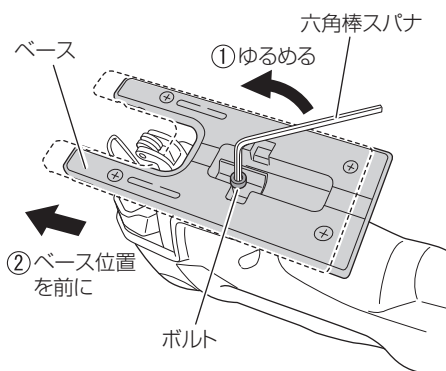
1 ベース下部のボルトを付属の六角棒スパナでゆるめ、ベースを最前方まで移動させます。

2 刃口板をベース前面から、奥までさし込みます。

3 ブレードを装着します。
(P.13「ブレードの取付け・取りはずし」参照)

4 ベースを最後方位置まで戻し、ベース下部のボルトを締付けてベースを固定します。

注 刃口板は直角での（ベース傾斜0°）直線切り以外の切断には使用できません。



サブベースの取付け

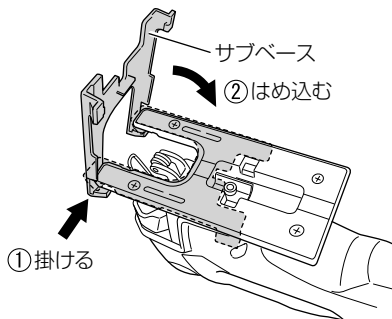
警告

サブベースの取付け、取りはずしの際は、万一の事故を防止するため必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

円や円弧など曲線切りのときに使用します。材料への引っ掛かりを解消し、作業しやすくなります。

ベースの先端にサブベースを掛けてからはめ込みます。はずすときは引き上げてください。

注 サブベースを取付けると、切断材からブレードが突き出す長さが3mm減少します。ブレードが最も下に移動したときに材料からブレードが出ることを確認してください。



チップカバーの取付け

警告

チップカバーの取付け、取りはずしの際は、万一の事故を防止するため必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

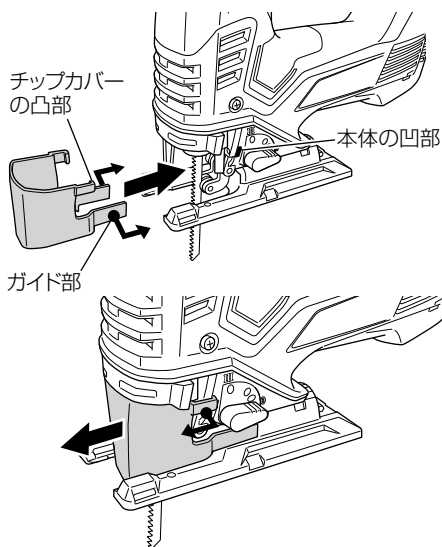
1 本体を直角（傾斜0°）にする。（P.23「傾斜切り」参照）

注 ベースを傾斜させた状態でチップカバーを取付けることはできません。

2 チップカバーのガイドを手で広げながら、本体側に押し込みます。

3 チップカバーの凸部が本体の凹に入っていることを確認してください。

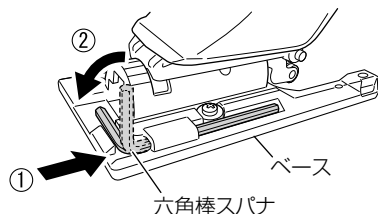
4 はずすときは、チップカバーの凸部を広げ、本体の凹からはずして引き抜きます。



六角棒スパナの収納について

ベースに六角棒スパナを収納することができます。

右図のように収納してください。



ダストコレクタの取付け

警告

ダストコレクタの取付け、取りはずしの際は、万一の事故を防止するため必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

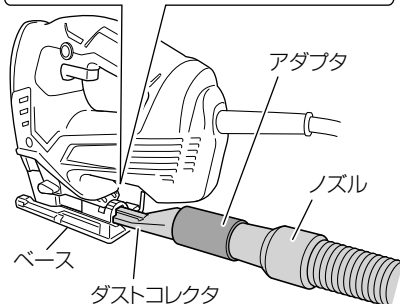
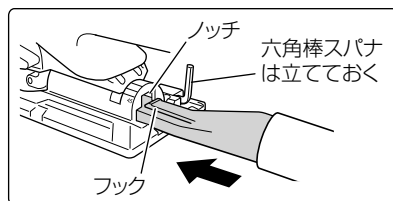
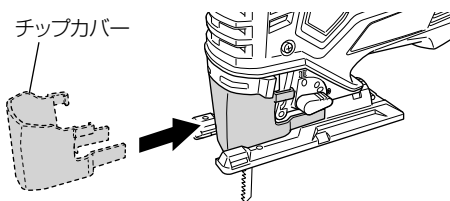
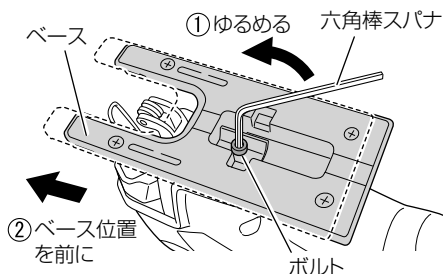
木材などの切断時に発生する切粉を、電動工具用集じん機（別売）を使用して集じんする場合に用います。

1 付属の六角棒スパナを用いて、ベースを固定しているボルトをゆるめ、ベースを一番前の位置にして固定します。

2 チップカバーを取付けます。

3 ダストコレクタのフックがベースのノッチに確実に収まるまで、ベースにさし込みます。

注 ノズルの内径がφ25以下の集じん機を使用する場合は、別途アダプタ（別売）を右図のように接続します。



木材を切断する

- 木材を直線や円、円弧に切る
- ガイド（別売部品）を使って切る

⚠警告

- 切断中は切粉が飛散するので、必ず保護メガネを使用してください。
- 作業中断時や作業後は、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意

- 材料はしっかりと固定してください。
- ブレードが材料に触れた状態でスイッチを入れないでください。
反動で本体が浮き上がる場合があります、けがの原因になります。

材料に、ケガキ線を引き、線に沿って切断します。

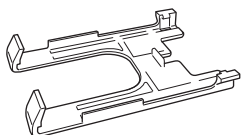
材料を内側から切断するときは、あらかじめドリルなどでブレードが入る穴をあけておきます。

1 ケガキ線を引く

材料を切断する場所にケガキ線を引きます。

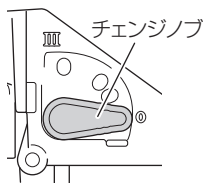
2 サブベースを取付ける (曲線切りの場合)

曲線切りをするときは、付属のサブベースを使用すると作業をしやすくなります。直線切りのときは使用しません。(P.17「サブベースの取付け」参照)



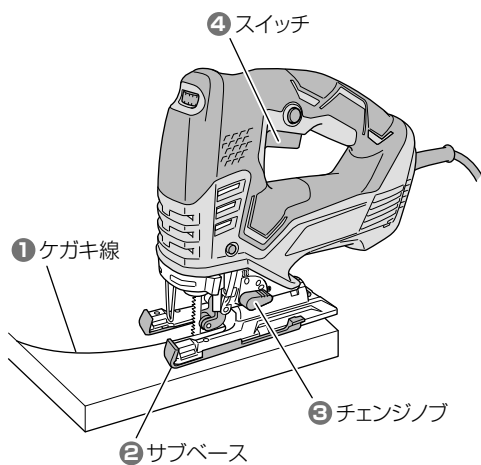
3 オービタルポジションを選択する

用途に応じたオービタルポジションにチェンジノブを回して設定します。(P.15「オービタル機構について」参照)



4 スイッチを入れる

ベースを材料に密着させ、ブレードが材料に触れない位置でスイッチを入れます。
ケガキ線に沿って、ゆっくりと切断してください。

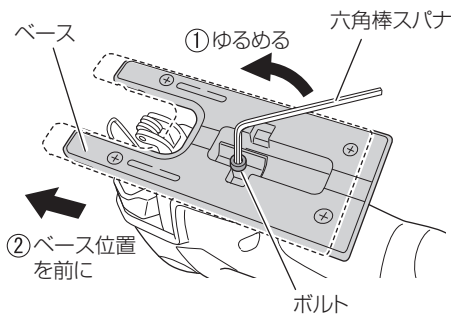


注 切断中は、ベースを材料に密着させてください。
ベースと材料がはなれていると、ブレードが折れる原因になります。

●ガイド（別売部品）の取付け方

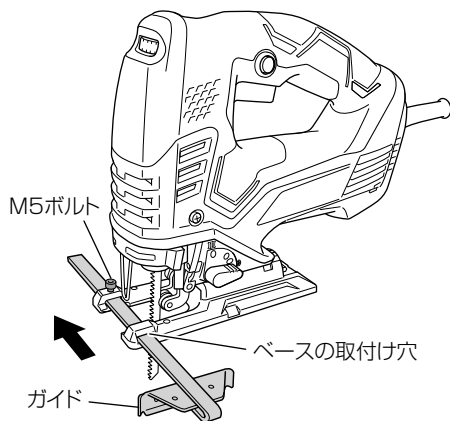
1 ベースを前にずらす

ガイドを取付けるときは、ベース下部のボルトを付属の六角棒スパナでゆるめ、ベースを前方一杯に移動してボルトを締付けます。



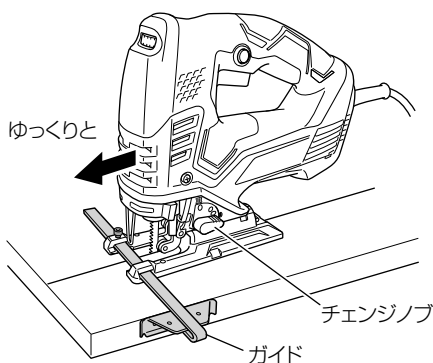
2 ガイドを取付ける

ガイドをベースの取付け穴に通し、ガイドに付属の M5 ボルトを締付けて固定します。



●ガイドで直線に切る

材料の側面にガイドを突き当ててゆっくりと滑らせて切断します。



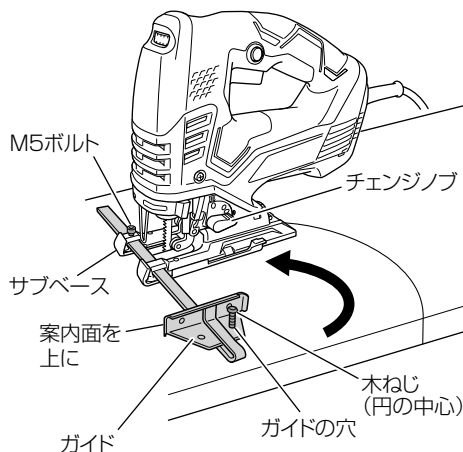
●ガイドを使って円、円弧に切る

ガイドを使って円や円弧に切ることができます。

また、付属のサブベースを取付けると作業しやすくなります。(P.17「サブベースの取付け」参照)

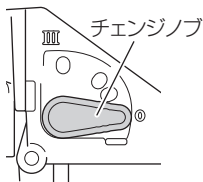
1 円の半径を決める

ガイドに設けてある穴とブレードまでの寸法を調節して円の半径を決め、M5 ボルトを締付けてガイドを固定します。



2 オービタルポジションを選択する

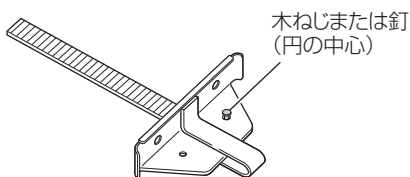
きれいな円弧、曲線を切るには、チェンジノブを“0”の位置に合わせます。



注 小さい円弧に切断する場合は、送り速さを遅くしてください。無理に速く送ると、ブレードが折れる原因になります。

3 円の中心を決める

ガイドの穴に木ねじ (太さ 3mm) または釘を打ちます。



いろいろな切り方

- 木材の傾斜切り、窓抜き
- 金属の切断

⚠警告

- 切断中は切粉が飛散するので、必ず保護メガネを使用してください。
- 作業中断時や作業後は、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

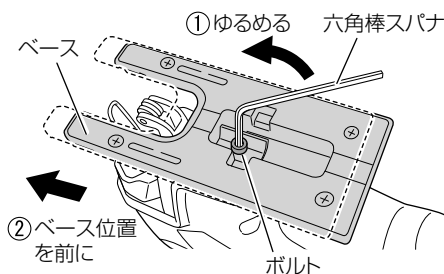
⚠注意

- 材料はしっかりと固定してください。
- ブレードが材料に触れた状態でスイッチを入れないでください。
反動で本体が浮き上がる場合があります。
けがの原因になります。

●傾斜切り

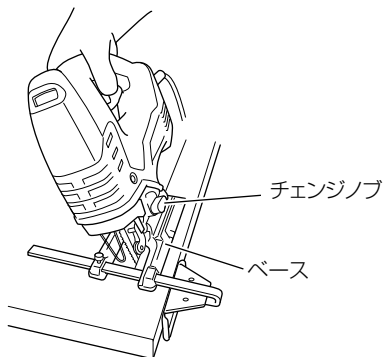
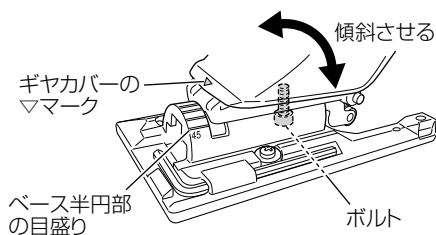
1 ベースを前にずらす

ベース下部のボルトを付属の六角棒スパナでゆるめ、ベースを前方一杯に移動します。



2 傾斜させる

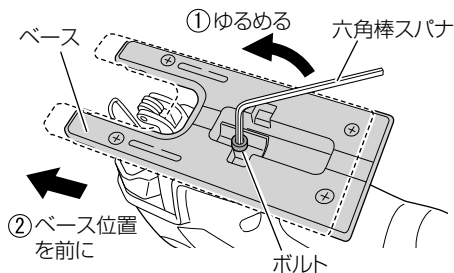
- ギヤカバーの▽マークを目盛りに合わせて、ベース下部のボルトを十分に締付けます。
- ベース半円部の目盛りは0°～45°まで15°ごとに表示してあります。



●窓抜き

1 ベースを前にずらす

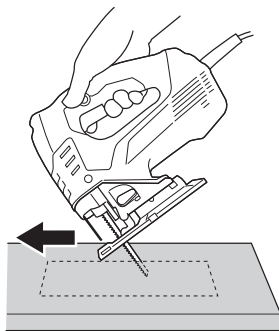
ベース下部のボルトを付属の六角棒スパナでゆるめ、ベースを前方一杯に移動します。



2 切り込む

- ベースの先端を材料に突き当てます。
- 木材の繊維方向にブレードを向け、少しずつ切り込んで切り口を作り、木材の中部から窓抜きます。

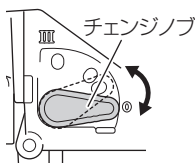
注 木材以外の材料は、あらかじめドリルなどでブレードの入るだけの穴をあけ、その穴にブレードを入れて切断します。



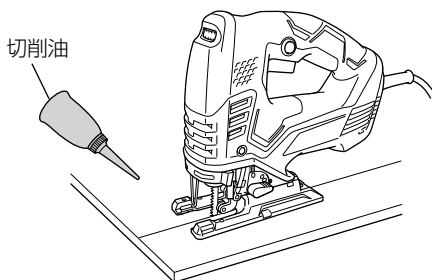
●金属切断

1 オービタル運動量を調整する

チェンジノブを右図のどちらかの位置に合わせます。



注 金属切断時は切削油を使用してください。切削油を使用しないと、ブレードの寿命が極端に短くなります。



2 切り込む

- ダイヤル目盛りを「3」～「4」を目安にして切断します。
- 必ず切削油（スピンドル油、石けん水など）を使用してください。
- 液状の切削油を使用しない場合は、グリースを加工材の裏面に塗ってください。

● ステンレス板の切断

⚠ 警告

- 切断中は切粉が飛散するので、必ず保護メガネを使用してください。
- 作業中断時や作業後は、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

- 材料はしっかりと固定してください。
- ブレードが材料に触れた状態でスイッチを入れないでください。
反動で本体が浮き上がる場合があります、けがの原因になります。

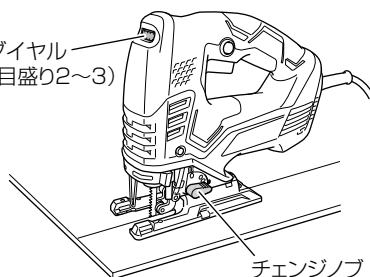
1 ブレードの選定

- ステンレス板の切断には、別売部品の No.97 のブレードを使用します。
(P.9「別売部品」参照)



- P.13「ブレードの取付け・取りはずし」の手順に従いブレードを交換します。

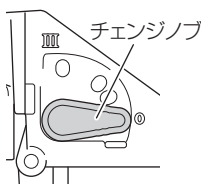
ダイヤル
(目盛り2~3)



チェンジノブ

2 ブレードを上下運動のみにする

チェンジノブを
“0” の位置に
合わせます。



- 注** ブレードのスピードが上ると速く切れますがブレードの寿命が短くなります。また、遅くすると寿命は延びますが、切断速さが低下します。
調整してお使いください。

3 切り込む

ダイヤル目盛りを「2」～「3」を目安にして切断します。

保守・点検

⚠ 警告

点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

● ブレードの点検

ブレードの切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理をかけることになり、また効率も落ちますので早めに新品と交換してください。

● モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）(P.7「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させてください。

モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

● 機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

● 清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

● 機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 **0120-20-8822**

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>